学校番号	３１０

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　最新「数学Ａ」　（数研出版）						
副教材等	改訂版　パラレルノート　数学Ａ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①板書用ノートと問題集用ノートを用意しましょう。
②授業は「基礎項目確認→例題確認→練習問題演習→練習問題振り返り→類題演習(問題集)」の流れで行います。
③知識定着への近道は、「アウトプットの繰り返し」と考えます。例題確認から類題演習までの流れの中で、自ら考え、周りと協働できる機会を設けますので、積極的に活動しましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり 育成することをめざす。
(1) 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察できる力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断 しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察できる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数 1　集合 2　集合の要素の個数 3　樹形図,和の法則,積の法則 4　順列 5　円順列と重複順列 6　組合せ	a: 樹形図や和の法則，積の法則を用いて,場合の数を求めることができる。順列や組合せに関する用語,記号,様々な公式を理解し,利用できる。 b:特殊な条件が付く組合せを,見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 c: 組合せの考え方を利用して,図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート
2学期		第2節　確率 7　確率の意味 8　確率の計算 9　確率の基本性質 10　事象と確率 11　独立な試行の確率 12　反復試行の確率 13　条件付き確率 14　期待値	a:確率の加法定理や複雑な事象を排反事象に分けることなどを通して,確率を求めることが出来る。 b: 不確定な事象を，同様に確からしいという概念をもとに数量的にとらえることができる。 c: 和事象，積事象，排反，空事象,確率の基本性質を集合と関連づけて考察しようとする。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート
	第2章　図形の性質	第1節 1　角の二等分線の比 2　三角形の外心,内心,重心 3　チェバの定理･メネラウスの定理	a:三角形に関する様々な性質を用いて,線分の長さや角の大きさ・面積を求めることが出来る。 b: 適当な補助線を引いて考察することができる。 c:公式の証明方法に関心を持つ。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート
3学期		第2節　円の性質 4　円周角の定理 5　円に内接する四角形 6　円と接線 7　接線と弦の作る角 8　方べきの定理 9　2つの円	a: 円に関する様々な性質を用いて,線分の長さや角の大きさ・面積を求めることが出来る。 b: 適当な補助線を引いて考察することができる。 c:公式の証明方法に関心を持つ。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート

		第3節　作図 10　基本の作図 11　いろいろな作図	a: 基本的な作図を行うことができる。円周角の定理を利用して，円の外部の点を通る円の接線を，平行線と比の性質を利用して，線分を内分する点を作図することができる b: 作図の各過程において，平面図形のどの性質を用いているかを考察できる。 c: 数学で扱う作図と，日常において図形をかくことでは，何が違うか考えてみようとする。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート
		第4節　空間図形 12　空間における直線と平面 13　多面体	a: 直線と平面の位置関係に 3 つの場合があることを理解し，問題を処理できる。また，ある直線ℓが平面上の 2 直線に垂直のとき，直線ℓと平面が垂直であることを理解している。5 種類の正多面体の特徴を理解し，それに基づいて面，頂点，辺の数を求めることができる。 b: 作図の各過程において，平面図形のどの性質を用いているかを考察できる。 c:平面図形での学習内容と関連付けて積極的に活用しようとしている。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度